

利用者	<p>そもそも、博物館は必ず作られる方向で決まっているのか。今、ナフサが足りないために受注生産を中止したメーカーもある。それなのに今できるのか。</p>
文化課長	<p>決定はしていないが、市では作る方向で進めている。 現在基本計画を作っており、その後基本設計、実施設計、工事と、その都度議会の承認を得て進めていく。 予定では今年度の途中から1年間で基本設計、次の1年間で実施設計、その後2年間程度工事となり、今から4・5年しないと博物館はオープンにならない。順調に行ってもあと2年強かかる。 その時に社会情勢やナフサがどうなっているかは分からないので、その都度状況に応じて判断する。</p>
利用者	<p>1月の説明会で、利用する方の中心は市民と言っていたが、それならば駅前に作る必要はないのではないか。市民ではなく観光客を対象にしているように見える。むしろゆったりした駐車場に作っていた方が、市民としては利用しやすいと思う。</p>
文化課長	<p>1月にも説明したが、市民全員が車を使って移動できる訳ではない。お子さんから高齢者までを対象に考えた場合、駅前という立地は重要。 まずは市民の方に見ていただき、加えて観光に訪れた方にも見ていただき、市内のほかの場所にも足を伸ばしていただく。 博物館の基本理念は、人づくりの拠点としている。色々な人が来やすい場所。駅前にあることで商店街や周辺の団体様と連携し、博物館の中で関係したものを展示していけたらと思っている。色々な人と関われる場所だと考えている。</p>
利用者	<p>①災害はいつ起きるか分からない。何かあった場合対応できるのか。例えば富士山の大噴火等。この辺りもハザードマップに十分入っている。病院等の、市民を守る為の施設なら分かるが、博物館を建てても市民は安心できない。社会情勢が混沌としており、資材も高騰している。そういったことは考えているのか。不信感がある。 ②市のお金の使い方について聞きたい。今後物価が上がって財政が逼迫したらどうするのか。ほかの病院やごみ焼却場等、既存施設のメンテナンスはできるのか。博物館どころではないのではないか。</p>
文化課長	<p>①博物館の建設よりも、災害に対応して欲しいというような意見だと思うが、災害は他部署の担当でしっかりと対応している。文化課として、博物館が必要として動いている。 博物館ができたからといって災害対策がおろそかになるということはないので、御理解いただきたい。 ②2年後、実際に博物館を建てる時にもっと優先すべきものがあるのかどうかということは今分からないので、その時に優先順序を考えることになる。 富士宮市には、郷土資料館が文化会館の建築とともに閉館になった後、ほかにも大きな事業がある中で後回しにされ、きちんとした建物が建たず、文化会館の一部を間借りしてきたという歴史がある。今やるべきことは進めている。</p>
利用者	<p>旧芝川地区の保健センターが現在埋蔵文化財センターとして使われているが、そこを博物館として使えないのか。 消防署の芝川分署が西山に移転するが、芝川分署の跡地を利用するのはどうか。新しく建てるのではなく、既存施設を利用するか、文化会館に併設してはどうか。新たに建てる必要性を感じない。</p>

文化課長	<p>博物館を建てる理由の一つに、埋蔵文化財センターがある場所が近年の気候の変化で浸水想定区域となってしまったということがあります、芝川分署もそういった理由で移転する。水害の影響を受けるので、移動しなくてはならない。</p> <p>文化会館の工事は今年度8月で終わる予定。郷土資料館として間借りしていたスペースは、元々文化会館のロビーで、本来郷土資料館として作られたわけではないので、あまり良い環境ではない。</p> <p>また、文化会館は芸術文化の拠点としてリニューアルしているの、郷土資料館があったスペースは一部縮小して展示をするが、市民のギャラリーとして整備しているので、利用できない。</p>
利用者	<p>前回、きららから駐車場に行く間に、喋りながら歩いていると、近所からうるさいと苦情が出るとの意見があった。博物館を作ったら騒がしくなり、苦情が出るのではないか。アンケートはしないのか。</p>
文化課長	<p>以前周辺住民への説明会を行った際には、反対意見はそれほどなかった。出た意見は参考にしたいが、アンケートを取る予定はない。</p>
利用者	<p>博物館を建てることに対して、市民がどれだけ賛成・理解しているかが疑問。市民はもう建てることと決まっていると思っているのではないか。全市民に問いかけたのか。住民投票をするべきではないか。埋蔵物を保存するのは大切だが、博物館を建てるのは別の問題として考えていただきたい。金額が大きいので、市民がきちんと納得したうえで建てるべきではないか。</p>
文化課長	<p>市としては必要なものとして、建てる方向性で進んでいる。保存する施設としてなら賛成していただけるということか。</p>
利用者	<p>保存施設としては賛成だが、きららである必要性はない。もっと安い土地や、市で持っている土地ではどうか。博物館を建てようとするから交通の便が良い駅前になってしまう。市議会を通ったというのが一般市民は知らない。博物館建設をやめることはできないかと考えている市民は多いと思う。無理に作ろうとしているような印象を受ける。</p>
文化課長	<p>現在水に弱い紙類は芝川会館に避難している。それ以外のものは埋蔵文化財センターにあるが、浸水の危険だけではなく建物も老朽化しており、整備や修繕も難しいので新しく建物を建てる必要がある。昨年埋蔵文化財センターの資料を調査したところ、資料の収蔵には全部で約900㎡の広さが必要で、それを全て博物館に入れるのは難しい。学校等の施設が空いた際には活用も考えるが、温湿度管理が必要なものを保存するには専門の施設が必要になる。博物館は資料をしっかりと保存し、それを活用して展示したり教育に使っていくための施設。保存だけでなく活用も考えると、しまうだけの施設ではなく博物館が必要。</p> <p>議会で議論されていることをご存じなかったということで、こちらも広報をもっとしていかなければならないが、博物館についてはR4年に市内13か所で説明会を開き、昨年度も6回説明会を開いて、区長達等にも説明させていただいた。広報誌等でも歴史文化の大切さを皆さんにお知らせしてきた。そちらに参加されていなかったということでご存じなかったのかと思うので、もっと皆様に伝えていく。</p> <p>全員が必要性を理解して住民投票していただけるかという点と難しいと思う。博物館は社会教育施設として市民の教育の場でもあるので、しっかり提供していくのが市の役割。市民のためにすべきものとして、住民投票をまず考えるのではなく、必要性を皆さんにしっかり伝えながら進めていく。</p>

利用者	<p>議事録を見ると必要性の論議はされているが、保存する意義があるということで、展示機能とは別。それが保存が必要だから展示スペースも作る、というふうすり替わっている。</p> <p>大勢の人が歴史に触れ合うのはいいが、きららに作った場合、離れたところに住んでいる人は行けない。小中高生が来れるかということ、学校はカリキュラムが大変。生徒をここに引っ張ってくることはできないと思う。小中高生が触れ合うには、展示スペースではなくネット情報にしてはどうか。きらら駐車場にする理由が見当たらない。</p> <p>駐車場の利用状況について、60台以上駐車されていた79日を特別な日としているが、平均すると1週間に1日半の計算になる。これは安心できる数字ではない。このような頻度で周辺駐車場を確保することはできるのか。</p>
教育部長	<p>学校のカリキュラムについて、今まで富士山学習の発表の場が文化会館や各学校だったのを、博物館ができたなら発表の場としても活用していきたいと考えている。そうすれば、今まで分散されていたものが集約される。学校の協力も必要になるが、富士山学習がとても評価されているので、これを機に全国にも発信できるような場になると考える。</p>
文化課長	<p>展示と保存は別ということだが、博物館法の中で、博物館とは収集・保存・展示、それを教育に活かしていく、ということをやっていくのが博物館となっている。本物でなくとも、デジタルを見ればいいと言う人もいるかもしれないが、本物を見た時の感動は本物を見ないと分からない部分もある。収蔵庫と一緒にすることで、展示の際に本物をずっと出しておくのではなく、入れ替えて紹介していくことができる。展示と保存は一体だと考える。</p> <p>79日については、年間365日の日中の時間帯が4,380時間帯あり、そのうち60台以上を超えていたのは156時間帯で、年平均としては3パーセントとなり、活用という面では少ない。</p>
利用者	<p>①展示スペースは1・2・3階のどちらになるのか。</p> <p>②前回の話だと博物館は、収蔵場所・職員の作業場所・展示場所にしたいということだったが、ゆったり色々なものを見て欲しいなら、展示場所がある程度広くないと意味がない。イメージだが、1階だけを展示にすると狭くなる。狭いところに無理に作るのではなく、ゆったり展示物も沢山置けるようなスペースがあると助かる。</p>
文化課長	<p>①基本設計の中で決めていく。基本設計を委託する際には駐車場は80台を確保して、かつ安全に人が移動でき、安全に収蔵できるような条件をつけて発注する予定となっている。その上で業者が工夫して提案してきたものを採用するため、今のところは決まっていない。</p> <p>②広々とした展示場で見てもらうのが理想だが、その結果床面積も増えてしまうと、博物館は普通の建物より壁を厚くする分割高になるので、お金を抑えて建てるとなると、基本構想で2,600㎡としたが、もう少しコンパクトにしたいと考えている。広々とはならないかもしれないが、皆さんにしっかり伝えていける展示室にしていく。</p>
利用者	<p>空調等、維持管理費は年間どのくらいかかるか。</p>
文化課長	<p>管理費は設計してみないとはっきり分からない。他施設で考えると中央図書館が3,800㎡あり、倍まではいかないが博物館の1.何倍もあり、令和6年度は2,400万円くらいになり、同等になるのではないかと考える。人件費は6人学芸員がおり、プラス事務や管理を行う職員を考えると、今の金額から大きく増えるわけではない。建物の設計が進んでこないと試算は難しい。</p>

利用者	<p>資料が分かりにくい。令和6年度では古い。令和7年度の数字で、きららの利用者団体の数等を精査して欲しい。博物館を建設するかどうかを言っているのではない。きららの駐車場に博物館を建てていいのかということ。色々なデータが古い。</p> <p>埋蔵文化財センターは土日やっていないから子供を連れていけない。本当に市民のためと言えるのか。</p> <p>学校に空き教室がいっぱいあるので、検討して欲しい。</p>
文化課長	<p>令和7年になって状況が変わっているものもあるかもしれないので、数字を確認し、個々に対応し、利用者の迷惑にならないようほかの駐車場の確保も検討していく。</p> <p>説明会以外でも連絡いただければ問い合わせに対応する。</p> <p>埋蔵文化財センターについては、令和7年度は利用者447人、令和6年度は300人と増えてきている。令和元年は140人。最初土日も開けていたが、足を運んでくださる人がいなかったため、現在土日は閉めている。博物館は社会教育施設であり月曜休みになると思うので、土日に来ていただけると思う。</p> <p>空き教室は、一つ一つの教室を使うのは学校の運営上難しいと学校から聞いている。もし使うなら一棟まるまる使うことになる。展示については、他の公共施設も利用しながらやっていきたいと考えており、博物館でなくても市民に知ってもらうきっかけになるような展示を行っていきたい。</p>